

おた 【アニバーサリープロジェクト】 小田周囲堤完成25周年 × 災害対策用機械操作訓練

H29.6.8

～伊賀盆地を守るハード対策とソフト対策～

近畿地方整備局木津川上流河川事務所

- 国土交通省は、完成から一定期間経過した治水施設について、地域の方々とその生い立ちを振り返り、果たしてきた役割や地域の水害・土砂災害リスクについて再認識していただく、「アニバーサリープロジェクト」を推進しています。
遊水地事業は昭和44年、新居と長田から着手し、本川堤、周囲堤、越流堤、排水門を完成させ平成27年6月より運用を開始致しました。上野遊水地の広さは全体で250ha 貯水量は900万m³(小田遊水地は62ha 貯水量は280万m³)で洪水時の浸水リスクを軽減させる役割があります。
- 上野遊水地の小田周囲堤が完成25周年を迎え、地域の方々に遊水地の役割や水害リスク、排水機場の役割等について事業パネルを用いて説明を行い、あわせて災害対策用機械操作訓練の見学も実施しました。
- 上野遊水地周辺の過去の災害、遊水地のしくみや必要性等の説明を行うとともに、伊賀市と合同での災害対策機械の操作訓練状況をご覧いただくことで、ハード対策とソフト対策の両輪で事業進めていることを理解して頂きました。

開催日時:平成29年6月8日(木) 13:00～16:00

開催場所:小田排水機場

(三重県伊賀市小田町 服部川左岸)

来場者:地域の住民 56名(地元久米小学校37名含む)
報道機関 5社

訓練参加者:伊賀市 17名、国交省 28名
※それぞれ操作委託者含む



【パネル説明内容】

木津川上流の概要、上野地区での過去の水害、小田遊水地の事業経過、遊水地の効果、地役権などを説明。



【写真の内容】

- 1.職員から遊水地などの説明を受け、熱心にメモを取る児童たち
- 2.平成27年6月に運用を開始した上野遊水地の全景
- 3.伊賀市と国交省の排水ポンプ車による排水訓練も見学
- 4.ヤギの除草についての説明の様子
- 5.伊賀市との合同訓練の見学の様子
- 6.照明車の操作訓練の様子

- ・高砂地区では、床上浸水の経験があり、災害時の対策情報を見学のため来場した。(一般参加者)
- ・小田排水機場や災害対策車等のすごい設備に感心しました。(一般参加者)
- ・小田排水機場のような立派な施設があるが、使用しないで済むようであってほしい。(一般参加者)
- ・洪水のことが知れてよかった。(児童)
- ・遊水地のことは、いっさい知らなかったのでもわしく知れてよかった(児童)
- ・これからは、遊水地を見る気持ちが変わりました。(児童)

～地域の方々の防災意識の向上に繋がりました～



【問い合わせ先】国土交通省 近畿地方整備局 〒518-0723 三重県名張市木屋町812-1
木津川上流河川事務所 調査課 TEL 0595-63-1611

